

地域ビジョン（目指すべき将来像）

「若い世代の希望をかなえ、選ばれるまち」

を実現し、将来にわたって活力ある地域であり続ける

目指す人口

令和42年(2060年)の目標人口=約86,000人

佐久市人口ビジョン（令和元年度改訂版）に掲げる人口の将来展望

地域ビジョン・目指す人口を実現するための4つの目標

目標①【ひと(自然動態)】

脱少子化と子育て世代一人ひとりの多様な幸せを実現する

■ 数値目標

合計特殊出生率

基準値：1.45 [2022(R4)]

目標値：1.67 [2026(R8)]

■ 基本的方向

- 結婚・出産・子育てに係る不安を払拭すべく支援策を充実、より強く推進
- 「子ども・子育て支援拠点施設」を開設、様々な悩みをワンストップで相談できる支援体制を構築
- 子育て世代のニーズに応える保育環境の確保及び子育て環境の充実を子育て世代の流入へとつなげる
- より豊かな教育環境の創造及び複雑かつ多様な課題に適切に対応

■ 具体的な施策

(1) 結婚・出産・子育て環境の充実

- 若い世代が安心して結婚でき、希望する数の子どもを生ま・育てたいと思える支援を推進
- 新たに整備する「子ども・子育て支援拠点施設」を核とした、より一層子育てしやすい総合的な支援体制を構築

指標名	基準値	目標値
「子育て支援・児童福祉」についての満足度	3.28 [2023(R5)]	3.36 [2026(R8)]

(2) 社会の変化に対応した特色ある教育環境の充実

- 魅力ある教育環境が子育て世代の新たな人の流れにつながることも視野に入れ、当市ならではの特色ある学びの環境の充実
- グローバル化やデジタル化といった急速な社会経済情勢の変化においても活躍できる、当市の未来を担う子ども達の育成

指標名	基準値	目標値
「学校教育」についての満足度	3.29 [2023(R5)]	3.50 [2026(R8)]

目標②【ひと(社会動態)】

変革に即した大胆な移住（ヒト）の流れを実現する

■ 数値目標

人口の社会動態増加数（計画期間の累計）

基準値：1,008人 [R2～R4の累計]

目標値：1,350人 [R6～R8の累計]

■ 基本的方向

- シティプロモーションによる当市の魅力の発信
- 当市ならではの観光資源の活用や、ゆかりのある著名人とのコラボにより、交流人口・関係人口の創出・拡大を推進
- 若者や女性を始めとする市民が住み続けたい・戻りたいと感じられるようシビックプライドの醸成
- 子どもの教育への関心が高い層へ当市の魅力を発信する等、「教育移住」の促進

■ 具体的な施策

(1) 行ってみたい・住み続けたい・戻って来たいと思える佐久市の魅力発信

- ICTを活用した効果的な情報発信により、当市の認知度向上に向けた施策を推進
- 市民が当市の魅力を再認識するための施策も併せて推進

指標名	基準値	目標値
「リモート市役所」のInstagramフォロワー数	—	5,000人 [2026(R8)]

(2) 地域の特色を生かした交流人口・関係人口の創出・拡大

- 当市が持つ観光資源の活用やゆかりのある著名人とのコラボレーション等、当市ならではの独自性を生かした誘客策により、交流人口・関係人口の創出・拡大を推進
- 来訪者が「暮らしやすさ」をより実感できるよう、来訪者を増加させるための施策はもとより、できるだけ長い期間、当市に滞在することを促す施策を推進

指標名	基準値	目標値
県外からの市内観光地利用者数	1,029,200人 [2022(R4)]	1,250,000人 [2026(R8)]

(3) 移住者数の更なる拡大

- お試し移住に対する支援や居住物件に関する支援等の充実を図り、移住検討者のニーズに沿った移住施策を推進

指標名	基準値	目標値
行政サポートによる移住者数（計画期間の累計）	364人 [2022(R4)]	1,200人 (R6～R8の累計)

目標③【しごと】

創意工夫や新しいアイデアを生み出す「人的資本」への投資と企業の持続的価値創造を実現する

■ 数値目標

市内事業所の従業員数

基準値：40,746人 [2021(R3)]

目標値：41,000人 [2026(R8)]

■ 基本的方向

- 所得を生み出す経済的に安定した就労場の確保・創出
- 女性の経済的な自立や多様な働き方の実現
- 柔軟な働き方の場の提供、創業促進や交流人口の創出
- 一般社団法人佐久産業支援センター（SOIC）との連携による各種企業支援やヘルスケア関連産業等の創出
- 市外への就業や進学等により転出した後のUターン促進
- 有機農業や環境にやさしい農業への就農支援

■ 具体的な施策

(1) 佐久市の未来を創る人材の育成・成長の支援

- 社会課題が多様化・複雑化する中、新たな視点からアイデアを生み出し、地域課題の解決や新ビジネスの創出につなげていく視点が求められていることから、デジタルスキルの習得や新たなビジネスの創出支援等を通じ、女性を始めとする多様な人材の育成・成長を支援

指標名	基準値	目標値
女性デジタル人材の就業数（計画期間の累計）	—	200人 (R6～R8の累計)

(2) 産業の持続的な発展に向けた支援

- 一般社団法人佐久産業支援センター（SOIC）と連携した各種施策の展開を通じ、市内企業の経営基盤の強化を図るほか、当市の強みである「健康長寿」を核にヘルスケア関連産業の創出を促進

指標名	基準値	目標値
ヘルスケア関連産業における新製品・新技術の開発件数（計画期間の累計）	20件 (R2～R4の累計)	30件 (R6～R8の累計)

目標④【まち】

リアルとデジタルが融合する令和型「暮らしやすい」まちづくりを実現する

■ 数値目標

「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合

基準値：77.4% [2023(R5)]

目標値：81.4% [2026(R8)]

■ 基本的方向

- 引き続き「暮らしやすさ」に直結する医療、防災、地域公共交通の充実等に官民協働で取り組み、安心・安全な生活の基盤を確保
- デジタル技術の活用により市民の利便性向上や庁内業務の効率化を図る施策を推進し、当市の「暮らしやすさ」の一層の向上
- 地域の中心拠点に都市機能の整備を進めるとともに、過疎化が進行する中山間地域においても暮らしやすい生活環境を維持・活性化

■ 具体的な施策

(1) 安心・安全に暮らし続けられるまちづくりの推進

- 「暮らしやすさ」を実感し、誰もがウェルビーイングを実現するため、「暮らしやすさ」の基盤となる公共交通の維持や災害に強いまちづくり、医療の確保等に官民共同で取り組む
- 過疎化が進行する中山間地域においても、安心して暮らせるよう、地域課題の解決や医療体制の確保に取り組むことで暮らしの質の維持・向上を図る

指標名	基準値	目標値
防災訓練を実施した自主防災組織の割合	53% [2022(R4)]	100% [2026(R8)]

(2) より暮らしやすい持続可能なまちづくりの推進

- 安心・安全な生活の基盤に加え、市民がより暮らしやすく、持続可能な発展を実現するまちづくりを推進
- デジタル技術の活用により市役所サービスの革新を図り、利便性を高めることで市民満足度の向上を図るとともに、持続可能な社会の実現に向け地域の脱炭素化へも取り組む
- 中心拠点に地域の特色を生かした都市機能の整備を進め、「暮らしやすいまち」の魅力をもっと高める

指標名	基準値	目標値
行政手続のオンライン化	9.4% [2023(R5)]	100% [2026(R8)]

